nichicon

高圧進相コンデンサ用放電コイル

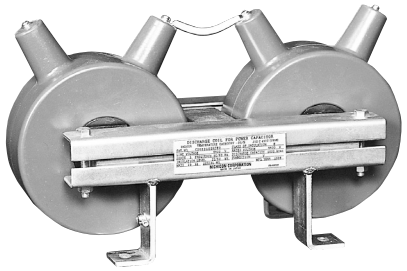
回路から開放したコンデンサには電荷が残りますので、これを放電する必要があります。標準品の高圧進相コンデンサにはすべて放電抵抗を内蔵しておりますので、これにより放電できますが、放電抵抗では放電時間が5分間と長いため自動制御などで短時間に再投入される可能性のあるところではもっと短時間で放電できる装置が必要です。このために使用されるのが放電コイルです。屋外用には油入式、屋内用・キュービクル用には乾式のものがあります。

モールド形 乾　式 環境対応品※

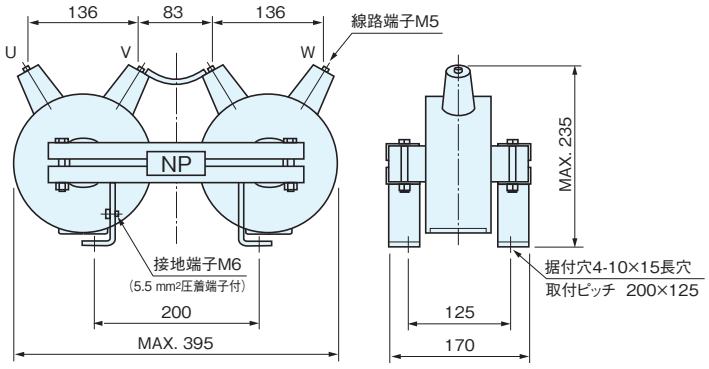
規格・性能

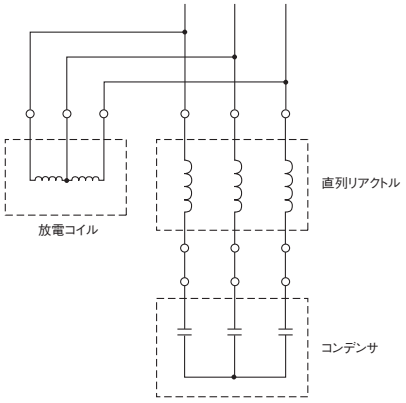
設置場所	屋内用（キュービクル内等の汚損の少ない場所）、標高1000m以下
周囲温度	−20～+50 ℃（24時間平均45 ℃以下、1年間平均35 ℃以下）
最高許容電圧	電圧倍数 / 許容印加時間 1.10 / 24時間のうち12時間以内 1.15 / 24時間のうち30分以内 1.20 / 5分以内 1.30 / 1分以内 ただし、1.15倍を超える電圧の印加は、放電コイルの寿命を通じて200回を超えないものとする。
放電性	所定の回路電圧の放電コイルを用いた場合において、放電容量以内のコンデンサの残留電圧を5秒間で50 V以下にします。
温度上昇	定格周波数の定格電圧を連続的に加え、温度が一定に達したとき、巻線部分において45 K以下（抵抗法）です。
絶縁強度	6600 V：22 / 60 kV　3300 V：16 / 45 kV
色・表面処理	巻線＝茶褐色樹脂色 / 金具＝亜鉛めっき
準拠規格	JIS C 4902-3（2010）

（注）放電インターバル：5秒に1回の放電で、5回連続放電が可能です。
ただし、その後6時間以上の休止時間が必要です。
※環境対応品につきましては、4頁をご参照ください。



寸法図（mm）





●放電コイルの接続位置

直列リアクトルによる過電圧を避けるため、放電コイルは直列リアクトルの電源側に接続してください。

定格寸法表

三相　耐熱クラス105（A）　乾式　屋内用

周波数 (Hz)	回路電圧 (V)	定格電圧 (V)	放電容量 (kvar)	品　番	質　量 (kg)
50 / 60	6600	6600	1000	CD662102KCE2	19
	3300	3300		CD332102KCE2	20